支えあいのまちづくり協議体（日本橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）」の令和５年度第１回目を、日本橋地域(日本橋公会堂)で開催しました。

１ 実施日

令和５年６月６日（火）16:30～18:00

２ 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター　計１１名

３ 内容

・新任メンバー・新職員 紹介
・出席者近況報告
・意見交換（日本橋地域の取り組み～広報物の作成～）

４ 出席者近況報告

新型コロナウイルス感染症の類型が変わり、地域の様子や高齢者を取り巻く環境の変化について各々から共有された。

◆ ５類になったことで、街が動きだし、旅行者が増えた。来所の相談が増えた。
◆ 祭があり、普段外に出ない方や元気な姿を見かけることもあった。祭の後もコロナに感染する方がいたという話もなく、改めてコロナが落ち着いて来たんだと感じた。
◆ 学会や集会がオンラインから現地で集まっての開催になるなど変化を実感。
◆ 感染対策用ビニールシートを外して窓口対応している企業や団体が見られるようになった。
◆ 朝のラジオ体操の参加者が増え、外国人観光客が参加する姿も見られるようになった。
◆ 潜在化していた地域づくりの担い手に興味・意欲があった人の声が増えてきた。
◆ 身近な地域での集まりや居場所、交流を求めている人が多くなった。

５ 意見交換：日本橋地域の取り組み～広報物の作成～

昨年度までの協議体にて、一人暮らしや転入したばかりで孤立しがちな高齢者を対象に、「日本橋浜町付近をモデルとした広報物」を作成することとなった。情報量が多い冊子タイプと持ち歩きしやすいタイプを作成する案が挙がったが、まずは後者の作成を目指すことで合意。掲載範囲・内容について、意見交換を行い確認。協議体参加メンバーにて、エリア別に分担し高齢者が外出時に利用しやすい社会資源を調査していくこととなった。

意見交換１：掲載エリアについて

浜町エリアについて掲載することとなったが、具体的な範囲についてどうするかを協議。
▽北側は久松警察署、西側は人形町駅、南側は高速道路がある蛎殻町までがいいのではないか。
▽中洲エリアは地図を作成する上で範囲に含めたほうがいい。
▽「浜町」と言っているので、浜町一丁目までは外せない。
▽日本橋五の部連合町会が浜町のエリアの印象がある。

▽駅を基点にしないと、転入された方は特に見方が難しいのではないか。
▽調査範囲を広めに取り、掲載範囲は情報量次第で絞ってもよいのではないか。
→出席者の中でも浜町エリアについて様々な意見があり、地域住民でもそれぞれ感じ方が違う。
今回は、久松小学校、人形町駅、水天宮前駅、中州町会を含む別紙のエリアを掲載する方向で決定した。

意見交換2：情報収集の内容・手段について

フォーマル・インフォーマルの資源と外出時に利用するトイレやベンチに加え、本協議体らしい情報として掲載できる内容を検討。
▽高齢者が自然と集まる喫茶店や銭湯、公園。
▽ナチュラルな社会資源を掲載する際は営利性が絡むため、高齢者に優しいお店、認知症サポーターがいるお店のような、お店の名前を出さないような形で掲載できないか。
▽トイレも和式や洋式が分かるように掲載してもよいのではないか。
▽将来的に、高齢者が一息できるところ(例：世田谷区「お休み処」)が地域ぐるみでできたらいい。
▽医療機関は公共性の高い社会資源として掲載できるのではないか。
▽交通面で注意が必要な場所(例：段差が激しい階段、信号がない場所等)も掲載してはどうか。
▽感染防止徹底宣言ステッカーを参考に、高齢者に優しい場所であることが分かるマークを作成していけたらいい。
▽高齢者が参加しやすいイベントを行っているお店を見つけることができたら、掲載をしてもよいのでは。施設等の箱ものではなく、「こと」を掲載するのもよいと思う。
▽郵便局には必ず一人以上認知症サポーターがいる。知らない方もいるので掲載してもよいかもしれない。
▽金融機関や企業に認知症サポーター養成講座を受けた職員がたくさんいるが、実際に周りには知られていない。社会貢献 PR の企業もあるが、認知症サポーターを知ってもらうためにはよいことではないか。
▽若い人にも手に取ってもらうためにも、QR コードを使って、Web 上で公開できるようにしてもよいかもしれない。
→次回協議体までに、メンバーで手分けをし、担当エリアのベンチやトイレ等の社会資源の調査及び、ナチュラルな社会資源について掲載しうる内容の検討を進めることとなった。

意見交換 3：広報媒体の制作協力者について

▽地域の方と一緒に作るという観点から、広報物の作成についてボランティアとして携わってもらいたい。
▽美大に通っている、ボランティアに興味がある、パソコンが得意な方など、周りにいないか。
▽公募制にして地域の方に協力をお願いするという方法もよいのではないか。
▽シルバー人材の中で絵の制作や PC 作業に長けている人材がいるのではないか。
→引き続き、協力者を探すこととなった。

6 今後のスケジュール

次回 9 月 5 日(火)16：30～18：00 多世代交流スペース「はまるーむ」

以上

別紙　掲載範囲（案）

東日本橋
鞍掛橋
一之橋北詰
ボタンの博物館
エンゼルファミ
アパホテル
中村
東日本橋
両国JCT
水上バスのりば
平田倉庫
大門通り
東横INN
日本橋浜町1
隅田川
久松小
久松町
浜町
東京水辺ライン
浜町公園
堀留町
久松警察署前
浜町公園前
清正公寺
新大橋西
人形町
今半
浜町中ノ橋
日本橋署
日本橋図書館
浜町三
小網神社
東横INN
有馬小
水天宮前
蛎殻町
東京シティ・エアターミナル
清洲橋
ファーストキャビン
日本橋蛎殻町1
つぶく医院
LYURO東
THESHARE
ワークセンター
箱崎公園
日本橋水門
佐賀2
新川一丁目
©ONE COMPATH 地図データ©GeoTechnologies Inc.